

第145回 伊丹市内企業の景気動向調査

本所では、伊丹市内企業の景気動向を把握するため、四半期ごとに標記調査を実施しているが、このほど、第145回調査の結果を取りまとめた。本調査時点は4月上旬、調査対象期間は平成29年1月～3月期、景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較してもらった。

〔回答企業の業種別分布〕

業種 項目	対象数 (社)	回答数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
一般工業	50	27	54.0	37.5
食料品工業	20	7	35.0	9.7
商業	20	9	45.0	12.5
建設業	20	11	55.0	15.3
運輸業	20	7	35.0	9.7
サービス業	20	11	55.0	15.3
全業種	150	72	48.0	100.0

〔産業別業況DI値〕

	業況	売上	採算	仕入単価	従業員
一般工業	▲14.8	14.8	▲22.2	▲59.3	18.5
食料品工業	0.0	▲14.3	▲14.3	▲42.9	42.9
商業	0.0	0.0	0.0	▲44.4	33.3
建設業	▲18.2	▲18.2	▲9.1	▲54.5	63.6
運輸業	0.0	28.6	42.9	▲28.6	28.6
サービス業	▲27.3	▲36.4	▲36.4	▲45.5	27.3
全業種	▲12.5	▲1.4	▲12.5	▲50.0	31.9

(注) DI = (増加、好転などの回答割合) - (減少、悪化などの回答割合)
業況、採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

〔景気動向について〕

業界の景気

	上昇		横ばい		下降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	29.6	11.5	48.1	80.8	22.2	7.7
食料品工業	14.3	12.5	71.4	62.5	14.3	25.0
商業	22.2	0.0	44.4	54.5	33.3	45.5
建設業	0.0	18.2	81.8	72.7	18.2	9.1
運輸業	28.6	22.2	71.4	77.8	0.0	0.0
サービス業	9.1	18.2	72.7	63.6	18.2	18.2
全業種	19.4	13.2	61.1	71.1	19.4	15.8

今回の調査結果(回答72社)によると平成29年1月～3月の景気実績は「上昇」回答19.4%(前回13.2%)、「下降」回答19.4%(前回15.8%)、景気見通しは、「上昇」回答11.1%(前回14.5%)、「下降」回答19.4%(前回17.1%)となった。長時間労働については下記の通り。

今後の景気の見通し

	上昇		横ばい		下降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	11.1	15.4	74.1	80.8	14.8	3.8
食料品工業	0.0	12.5	85.7	62.5	14.3	25.0
商業	22.2	0.0	33.3	54.5	44.4	45.5
建設業	9.1	18.2	72.7	72.7	18.2	9.1
運輸業	14.3	22.2	71.4	66.7	14.3	11.1
サービス業	9.1	18.2	72.7	54.5	18.2	27.3
全業種	11.1	14.5	69.4	68.4	19.4	17.1

長時間労働について

	1	2	3	a	b
一般工業	29.6	55.6	14.8	91.3	8.7
食料品工業	14.3	57.1	28.6	100.0	0.0
商業	33.3	11.1	55.6	75.0	25.0
建設業	18.2	63.6	18.2	87.5	12.5
運輸業	71.4	14.3	14.3	100.0	0.0
サービス業	27.3	45.5	27.3	62.5	37.5
全業種	30.6	45.8	23.6	87.0	12.9

1. 恒常的にある
2. 時々ある
3. 無い・させない

1、2をご回答の方

- a. 残業削減に努めている
- b. 残業削減に努めていない

◎残業理由 ※一部抜粋

取引先の受注量・納期により、残業が避けられない。(一般工業、食品工業)

お客様への対応が営業時間を越える。(商業、サービス業)
積み荷待ちにより残業が増大する。(運輸業)

◎対策案 ※一部抜粋

週に1度のノー残業デーやフレックスタイム制度を実施している。

採用増し、臨時従業員の時給アップで不足分への対応を図っている。

新規設備の投資、業務リフトのリニューアルによる労務削減に努めている。

工事完成後、まとめてリフレッシュ休暇を取得するルールを確立している。

月ごとに見込み残業を付けている。

荷主の理解と協力のもと、生産計画を正確にしたい。